

令和5年度第1回鳴門市総合計画審議会 議事概要

日時：令和5年9月7日（木） 午後3時00分から4時45分まで

場所：消防庁舎3階 会議室

出席者：（審議会委員25名）

市橋委員、恵美委員、大西委員、小川委員、蟹江委員、河原委員、木原委員、五島委員、小林委員代理、佐古委員、笹委員、佐藤委員、曾良委員、田村委員、中田委員、西川委員、濱田委員、平野委員、福山委員、藤村委員、古宅委員、益岡委員、村澤委員、矢野委員、吉田委員

（鳴門市関係者16名）

泉市長、谷副市長、三浦教育長、近藤企業局長、小泉政策監、大林危機管理監、利穂事業統括監兼企画総務部長、小椋市民生活部長、西上環境共生部長、池田健康福祉部長、三栖都市建設部長、阿部産業振興部長、廣瀬消防長、三居企業局次長、小川教育次長、米澤議会事務局長
事務局6人

傍聴者：なし

会議次第

1 開会

2 市長挨拶

3 委員紹介

4 議事

（1）総合計画実施計画（令和4年度実績）及び令和5年度行政評価について

（2）総合計画実施計画（R5-R7）について

5 閉会

会議資料一覧

【資料①】 第六次鳴門市総合計画実施計画（令和4年度実施計画兼評価シートまとめ）

【資料②】 第七次鳴門市総合計画実施計画（R5-R7）

【資料③】 鳴門市総合計画審議会委員名簿

【資料④】 鳴門市附属機関設置条例

【資料⑤】 総合計画策定に関する要綱

会議経過

- 1 開会后、市長挨拶。
- 2 新委員及び市出席者を司会より紹介。
- 3 議事（１）について、事務局より資料①の説明を行った。
- 4 議事（２）について、事務局より資料②の説明を行った。
- 5 副市長より挨拶の後、閉会。

主な質疑等、議事の概要は以下のとおり。

◆議事（１）総合計画実施計画（令和４年度実績）及び令和５年度行政評価について

※資料①に基づき、総合計画実施計画（令和４年度実績）及び令和５年度行政評価の内容について事務局から説明。

【委員】

新型コロナウイルス感染症の影響などにより「未達成」となった３事業を除く１２０事業が「計画どおり」又は「ほぼ計画どおり」実施されており、令和４年度事業全体として評価できると考える。

◆議事（２）総合計画実施計画（Ｒ５－Ｒ７）について

※資料②に基づき、総合計画実施計画（Ｒ５－Ｒ７）について事務局から説明。

【委員】

子どもの健康診査について、新型コロナウイルス感染症の流行後、集団検診が医療機関での健診に変更された。集団検診は、保護者にとって子育てに関する不安などを解消できる場でもあるため、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら復活させていただきたい。

→池田健康福祉部長）コロナ禍においても子どもの健康診査は途切れずに実施する必要がある中で、集団検診から個別健診に移行している。今後については、保護者の方が必要とされている支援の見極めや、専門の方々のご意見を伺いながら、引き続き検討・対応させていただく。

【委員】

国際・国内交流事業について、ドイツ・リュネブルク市から３９名の親善使節団が１０月１２日から１６日まで鳴門市に滞在する。２０１９年以降、４年ぶりの相互訪問であり友好を深めたい。

【委員】

スポーツ活動推進事業について、鳴門市チャレンジデーは参加率も非常に良くなってきているが、来年度以降は代替行事など考えているのか。

➡**小椋市民生活部長**）本市は平成22年からチャレンジデーに参加し、スポーツの習慣化など実績を上げることができた。主催者の事業終了に伴い、チャレンジデーとしての開催はなくなるが、14年間培ってきたノウハウを活かした事業の実施について検討していきたい。

【委員】

農業用排水路の浚渫に関する支援策はあるか。

➡**阿部産業振興部長**）多面的機能支払交付金の活用などにより農地・農業用水等の保全活動を支援している。今後とも課題については、地域の方と話しながら、よりよい方法を検討していきたいと考えている。

【委員】

自殺予防の取組を推進すべき。

➡**池田健康福祉部長**）自殺予防に関して、啓発活動や相談体制づくりを進めており、本市の自殺者は減少傾向にある。今後は、高齢者や生活困窮者に対する施策や、相談員養成について、重点的に取り組んでいきたいと考えている。

【委員】

農水産業の活性化についてどのように考えているのか。

➡**阿部産業振興部長**）「鳴門市農業振興計画」、「鳴門市水産振興計画」に基づき、担い手の育成・確保、各ブランドの振興・活性化等について、関係機関と連携した取組を進めているところ。また、遊休農地については、コウノトリの餌場となるビオトープとして活用するなど、適切な利活用を検討したい。

【委員】

避難タワーが建設されれば助かる命があると考えているが、実現するのか。

➡**大林危機管理監**）防災施設整備の基本的な考え方については鳴門市都市計画マスタープランにおいて、津波等の浸水害対応についてはフェーズフリーの考え方に基づき、既存施設の活用を優先しつつ、各地域の実情に合わせて、外づけ階段やタワー等避難施設の追加を検討させていただく。なお、現在、国・県において南海トラフ巨大地震の被害想定の見直しが行われており、その結果を踏まえて検討したい。

【委員】

避難タワーは、収容人数に限りがあること、津波避難に限定されることから、その必

要性や代替施設について考える必要があると思っている。

四方見展望台周辺に生い茂る樹木で景観が損なわれているため対応してほしい。

また、大津富士の不法投棄について撤去してほしい。

➡**阿部産業振興部長**）四方見展望台周辺については、随時、樹木の剪定を行っているが、県の管轄や国立公園地域内ということもあり、整備が追い付いていない状況にある。現地を確認して剪定できる樹木は早急に対応していきたい。

➡**西上環境共生部長**）市では、不法投棄防止看板や防護柵の材料を支給させていたっている。また、市内13地区の不法投棄監視パトロール隊のご協力で不法投棄の処理を行っている。現場を確認させていただき、対応について関係機関と協議を進めたい。

【委員】

関西圏からの観光客に対し、鳴門に滞在してもらえるような取組を進めてほしい。

➡**阿部産業振興部長**）大阪・関西万博開催を契機として、観光客の増加が見込まれることから、持続可能な観光地となるよう観光客の受入環境整備を推進する。

【委員】

鳴門で知られていない観光地について、市民に共有していく仕組みづくりを行ってはどうか。

➡**阿部産業振興部長**）現在、市内観光の魅力を個々人が自由にSNS等で発信するためのフリー素材を作成している。市内の穴場スポットも取り入れ、発信していきたい。

【委員】

文化会館改修事業について、整備完了はいつを予定しているのか。

➡**利穂事業統括監兼企画総務部長**）令和7年度に耐震改修工事に着手し、完成までは約2年を予定している。

【委員】

ゴミとして捨てられていたアルミ缶やペットボトルのキャップは再利用することで社会貢献に繋げることができる。回収は、市のイベント等と組み合わせて実施すれば活動が広がっていくのではないか。

➡**小椋市民生活部長**）いただいたご意見を参考にさせていただき、社会貢献を含む新しい分野を今後実施するイベントや行事で取り入れていきたい。

【委員】

公共交通対策事業について、「新たな運行形態の導入」とは、具体的にどのようなも

のか。

➡**利穂事業統括監兼企画総務部長**) デマンド交通等の新たな移動手段の導入について、今後検討を進めていきたいと考えている。

【委員】

住環境整備事業について、木造住宅耐震化促進事業はどのようなものか。また、移住促進の面において、空き家の利活用はどのように考えているのか。

➡**三栖都市建設部長**) 木造住宅耐震診断支援事業により、市内木造住宅の耐震診断を無料で実施している。耐震化が必要な住宅に対しては、木造住宅耐震改修支援事業により耐震補強工事に要する費用などの一部を補助することで、木造住宅の耐震化を促進している。

➡**阿部産業振興部長**) 移住を促進する取組としては、空き家バンク制度を運用し、移住者へ住まいを案内する等により、空き家の利活用を促進している。

【委員】

里浦地区では自主防災会と企業が連携して夜間避難訓練を実施した。避難訓練のマンネリ化による危機意識の低下を防ぐため、考えていることがあれば教えてほしい。

➡**利穂事業統括監兼企画総務部長**) 日常生活から防災を取り入れるフェーズフリーの考え方について周知・啓発活動を推進し、防災意識の醸成を図っていく。

【委員】

下水道普及率の目標値が低すぎるのではないか。環境への影響を考慮し、早期の普及促進に努めてほしい。

➡**三栖都市建設部長**) 下水道普及率は、市全体の人口に対して、実際に整備した区域内の人口割合を指している。財政状況や社会情勢の変化に応じて適宜見直しを行い、適切な事業計画のもと、水環境の改善に向けて順次、整備を進めていきたい。

【委員】

鳴門市の発展には、子どもの人口を増やすことが必要不可欠である。あらゆる施策が子育てしやすいまちづくりに繋がるものとなるようにしてほしい。

➡**池田健康福祉部長**) 「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」は、経済的支援を重点内容として令和4年度から開始しているが、子育ての担当部署だけではなく、市役所全体で連携して、子育てしやすいまちづくりに取り組んでいきたいと考えている。

以上